授業科目名・形態	看護倫理　講義	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	小玉　光子	実務経験の有無	有	開講期	２年後期
科目ナンバリング	N4-2002npmht				

【授業の主題】

看護実践の中心は倫理である。臨床現場において看護職は様々な倫理的問題やジレンマに遭遇する。どのように判断し対応していけばよいのか、倫理的判断を適切に行うために必要な理論や方法論について学ぶ。多様な価値観をもつ人間のこころを大切にしながら、具体的な事例を用いて臨床現場での倫理的問題を分析・解決するための基礎を学ぶ。

【到達目標】

1. 人間の尊厳や人権の尊重という価値観の重要性を理解できること。
2. 上記を理解したうえで、看護実践には倫理的配慮が必要であることを認識できること。
3. 看護実践上の倫理的問題を明確にし、調整や解決のための基本的な方法について説明できること。

【授業計画・内容】

第１回　看護倫理についての基礎知識　（小玉）
第２回　看護倫理のアプローチ　（小玉）
第３回　看護倫理に関係する重要な言葉①　（小玉）
第４回　看護倫理に関係する重要な言葉②　（小玉）
第５回　さまざまな看護活動と倫理　（小玉）
第６回　社会的要配慮者の看護と倫理　（小玉）
第７回　看護研究における倫理、事例検討　（小玉）
第８回　授業のまとめ　（小玉）

【授業実施方法】

・基本的には講義形式で行うので主体的には授業に参加すること。
・第７回目の事例検討ではグループワークおよびその後に発表してもらう。

【事前・事後学習】

講義内容に関する事前学習を毎回２時間以上行うこと。講義内容を踏まえて復習も毎回２時間以上行うこと。

【主な関連する科目】

看護学概論、看護学領域全体

【教科書等】

小西恵美子他編　看護倫理　よい看護・よい看護師への道しるべ　改定第３版　南江堂　2024

【参考文献】

看護倫理　看護の本質を探究・実践する　改定第２版　川口孝泰他編集　Gakken
看護倫理　Ethics in Nursing　鶴若麻理編集　医歯薬出版株式会社
石井トク編　看護倫理　看護の本質を探究・実践する　学研

【成績評価方法】

筆記試験（95%）と授業態度等（5%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

特定機能病院で多数の部署を経験した。様々な人々との出会いがあり、それに応じた様々な倫理的場面も経験した。それらを活かして、看護を取り巻く倫理的問題について授業を行っていく。

【学生へのメッセージ】

看護職の職業倫理として位置づけられる看護倫理は、看護職が患者や家族と関係を築くための基盤となっています。日々直面する倫理的問題を解決するためにどのように行動するべきか・なぜその行動をとるべきか、積極的に事前・事後学習に努め、倫理的な感受性や判断力・対応力の基礎を身に着けてください。